

鳥取県と生協県連が 「包括連携協定」を締結しました

10月31日(月)知事公邸にて「鳥取県と鳥取県生活協同組合連合会との包括連携協定」調印式が行われました。県からは平井知事をはじめ、各課の担当者や報道関係者の出席、生協県連からは、ラブコも含め県生協や鳥取医療生協の役職員9名が出席しました。

平井知事からは、10月21日に発生した鳥取中部地震による被害状況や今後の対応等の話のあと、日頃から地域や県民の安全安心に尽力している生協だからこそ、今回の地震対応についても迅速で丁寧な支援活動が展開されているとの感謝の言葉を頂きました。

続いて県連会長から、6つの生協がそれぞれ特徴を活かした事業活動を展開し、のべ20万人組合員の規模に到達したこと、県との包括連携協定締結を機に、地産地消や環境保全活動、地域福祉や子育て支援活動もこれまで以上に力を注いでいくこと、被災者の支援を継続していくことが述べられました。

次に、県生協井上専務からは県包括連携協定に基づく連携事業内容として、県産品の開発と供給促進、防災・災害対応、環境保全活動、高齢者・障がい者支援対応、子育て支援活動、健康・食育活動等の紹介がありました。続いて、鳥取医療生協池成副組合長からは、「すこしお生活」や「あいうべ体操」等、とっとり虹の健康コースの取り組みが紹介されました。

調印式の後、知事からは「全国の生協に向けて地震災害への義援金を呼びかけられたことは大変頼もしい」とのコメントを頂きました。また、地震による風評被害が広がりつつある中、鳥取県の元気をアピールしていく取り組みへの協力要請がありました。

今後は協定に関わる「連携項目」に沿った具体化と実践、次回の見直しに向けたPDCAを会員生協と共にすすめていく予定です。



せいきょう県連だより

vol. 1

2016年12月

県連創立50周年 記念式典&レセプションを開催

11月8日(火)ホテルモナークとっとりにて、「鳥取県生活協同組合連合会創立50周年式典&レセプション」を開催し、県内外から70名の方々にご出席頂きました。

式典に先駆け、50周年記念事業の一つとして来年2月公演を予定している「怒る富士」の主演として活躍されている嵐 圭史さん(前進座)に、『私の芝居人生を彩った 生協との豊かな出会い』と題してご講演を頂きました。

記念式典では、鳥取県知事の平井伸治様、鳥取県協同組合連絡協議会会長の高見俊雄様、日本生活協同組合連合会会長の浅田克己様からご祝辞を頂きました。

次に、これまでの県連活動への功績と引き続きご協力頂くことをお願いし、「県連役員退任の会」に感謝状が贈呈されました。式典の最後には、「輝かしい歴史と苦難克服 そして未来に向かって」をテーマに、県連50年の歴史PPTが上映されました。

記念レセプションでは、今から約350年前に興され因幡地方(鳥取東部)に伝承されている「麒麟獅子舞」が披露され、参加された皆様は幽玄で神秘的な舞に見惚れました。

次に鳥取大学学長の豊島良太氏による乾杯のご発声のあと、県ユニセフ協会による「ユニセフクイズ」が出題され、世界の子どもの現状を知る良い機会となりました。

当日はお忙しい中、また遠方からご来鳥頂いた方々への感謝とともに、50年の足跡を伝承し県連活動の新たな峰に向かって邁進していくことを会員生協と共に再確認する式典となりました。

Information

■東日本大震災・熊本大分地震・鳥取中部地震 復興支援企画

前進座公演「怒る富士」

【日時】2017年2月19日(日) 開演13:30 (開場13:00)

【会場】鳥取市民会館 【料金】45,00円(全席自由席)

【主催】鳥取県生活協同組合連合会

※チケットのお求めは各生協まで



■第50回 鳥取県消費者大会

【日時】2017年2月24日(金) 10:00~12:00

【会場】倉吉交流プラザ2F(視聴覚ホール)

【内容】基調講演

「実例で学ぶおもしろ法律講座～高齢者・消費者トラブルの手口と対策～」

講師/弁護士 角田 隆平さん

【プロフィール】

1976年生まれ。京都府宇治市出身。大阪弁護士会所属。角田龍平法律事務所所長。高校3年でオール巨人に弟子入りし、若手漫才師の登竜門「今宮えびす漫才新人コンクール」で福笑い大賞受賞。漫才の一芸入試で立命館大学法学部に入学後、進路を漫才師から弁護士に変更し、司法試験に合格。弁護士として、刑事・民事事件を数多く担当。「情報ライブ ミヤネ屋」等、メディアにも精力的に出演。



ご講演/嵐圭史様(前進座)



県知事/平井伸治様



JA中央会会長/高見俊雄様



日生協会会長/浅田克己様



感謝状贈呈/県連退任役員の方



麒麟獅子舞

7月

2016「平和のつどい &ピースリレー」がスタート!

《京都ピースパレード》

今年で28回目を迎えたピースリレーin日本海コースは、6月21日京都「ピースパレード」に鳥取から代表4名が参加し、リレーがスタートしました。パレードは円山公園を出発点に、途中から国民平和大行進と縦列を組みつつ京都市役所まで元気に行進しました。

《東部ピースリレー》

鳥取県内のピースリレーは、7月9日の東部を皮切りにスタートしました。リレーに先立ち行われた平和のつどいでは、県弁護士会・憲法委員会の池田弁護士による「安保法と憲法」の講演がありました。引き続き鳥取市長からのメッセージや京都パレードの様子が報告され、民医連平和人権ゼミナールから出題された平和クイズで学習を深めました。ピースリレーには約80名が参加し「核兵器廃絶」「憲法を守ろう」の声が響き渡りました。

《中部ピースリレー》

中部ピースリレーは7月16日に行われました。平和のつどいでは、京都パレード報告や倉吉市長のメッセージの紹介に続き、生協組合員の石湯さんによる戦争時の暮らし体験をお聞きし、戦争の悲惨さや改めて平和憲法を守る大切さを実感することが出来ました。ピースリレーは約45名が参加しました。

《西部ピースリレー》

7月23日は、鳥根県連からもバスをチャーターして多くの方にご参加頂き、総勢100名によるピースリレーとなりました。リレー出発式には米子市長からのメッセージ代読や京都パレードの報告、また中四国地連局長にもご挨拶を頂きました。ピースリレーでは炎天下の下、島大生協学生委員会を先頭に元気よく行進しました。

リレー後に行われた平和のつどいでは、ピースコンテストの表彰、島大生協学生委員会の皆さんによる平和クイズ、永井達也さんの平和ミニコンサートがあり、最後に鳥取から島根に横断幕の引き継ぎ式が行われました。



東部/ピースリレー



中部/平和のつどい



西部/ピースリレー

8月

21年振り、「親睦ボウリング大会」を開催

8月27日(土)鳥取スターボウルにて県連主催「親睦ボウリング大会」が開催されました。今回は県連創立50周年を記念し、6会員生協の役職員とその家族21名、応援ギャラリー合わせて約25名が参加、快い汗と笑顔で生協仲間の親睦と交流を深めました。徳永さん(グリーンコープとっとり)による始球式のあと、3人で1チーム、県連チームも合わせて7チームに分かれ、1人2ゲームを楽しみました。子どもと女性の皆さんには30点のハンディを付け、チーム別と個人別の順位により表彰を行いました。

■チーム別

- 【優勝】鳥取共済チーム
- 【2位】鳥取医療生協チーム
- 【3位】県生協チーム

■個人別

- 【ハイゲーム賞】 山岡さん (鳥取医療生協)
- 【ハイゲーム2位】 加瀬野さん(鳥大生協)
- 【ブービー賞】 木村さん (県生協)

大参加者からは、『楽しかったです。また企画して下さい』『20年近くボウリングをしていますが、いいスコアが出て以外とやれるもんだと思いました』『ボウリングは今回で2回目ですが、気を遣うこともなく楽しめました』など、皆さんに楽しんで頂くことが出来ました。



チーム優勝/鳥取共済の皆さん



個人優勝/山岡さん(鳥取医療生協)



ブービー賞/木村さん(県生協)

8月

県連役員・県行政との懇談会を開催

「生協・県行政懇談会(8月29日)」が県庁会議室にて開催され、県からは生活環境部長をはじめ5名、生協から6名が参加しました。

最初に松軒県連会長と広田生活環境部長の挨拶の後、出席者と各生協の事業活動が紹介されました。

県生協からは「くらしのサポート総合窓口」「くらし助け合いの会」「フードサポート事業」が報告されました。鳥取医療生協からは「班活動の取り組み」「とっとり虹の健康コース」「医療生協しんぶんの手配りさん」が報告されました。米子医療生協からは「高齢者施設」や「だんだんカフェ」の取り組みが紹介されました。鳥取共済生協からは「安心して暮らし続けられる社会づくり」の取り組みの一環として「防災イベント」や「防災・減災学習会」が報告されました。

県からは「平成28年度消費生活センター事業概要」や「鳥取県消費者教育推進計画」に関する報告がありました。

次に、双方による意見交換が行われ、県から「各生協の組合員の動向はどうか」「子どもの貧困問題への取り組みは?」「くらしのサポート事業の今後の取り組み等は?」等の質問が出され、各生協ごとに対応しました。

生協からは「エシカル消費」啓発の取り組みはこれかも重要課題であり、継続して頂くよう要望しました。また、県連で取り組んでいる「とっとり虹の健康コース」を生協だけでなく、県民全体の取り組みに広げていけるよう、「包括連携協定」に盛り込んでいくよう要望しました。今回は、人事異動で双方のメンバーが交代したこともあり、県行政との関係を向上していく上でも有意義な懇談会でした。



加藤専務/米子医療生協



生協・県行政懇談会参加者

9月

初!生協・報道編集責任者との懇談会

9月30日(金)モナーク鳥取にて、「生協・報道編集責任者(土曜会)懇談会」を開催しました。土曜会からは、テレビ局と新聞社合わせて10社10名の参加、生協からは4生協(連)7名が参加しました。

今回は初めての懇談会のため、前半は県連会長より「ロッチデール公正先駆者組合」「生協とは」「戦後県内における生協運動の歴史」等を説明し、続いて鳥取大学生協・県生協・鳥取医療生協の各専務理事から各生協の事業活動やトピック・ニュース等を説明しました。

後半は、土曜会幹事の挨拶の後、2つのグループに分かれ懇親を深めました。懇親会の後半には、県生協理事によるCOOP商品の紹介を行いました。

参加されたマスコミ関係者からは「世界中に生協があるんですね」「あまり生協の事業活動のことを知らないの参考になります」「関東の生協から選挙に立候補された例があるが、鳥取ではどうですか」「スマホの普及等により、テレビや新聞は進め、マスコミの力が弱まっている。この先が心配です」「『平和』に関する記事の連載を担当しています。生協の方に見てほしい」等、様々な分野からの感想や意見を頂き交流することが出来ました。

またCOOP商品については、「たまごスープの被災地支援やローリングストックの考えが素晴らしい」「COOPワインのコスト・パフォーマンスがいい」等絶賛を博しました。お帰り際には、紹介したCOOP商品のお土産をお渡しし、楽しい懇談会の中での閉会となりました。

今回の懇談会では、双方とも活発な意見交換がすすむなど、これまで以上に生協の事業活動を知って頂くこと、報道関係者との関係性を高めていくきっかけが出来ました。

